

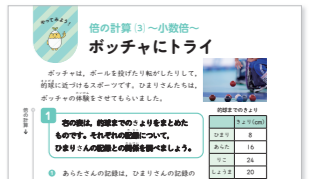
観点別特色一覧表

I 目標と取り扱い内容

観点	特色	具体的な事例
<p>① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して資質・能力が育成できるように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は8～11ページ</p>	<p>① 数学的な見方・考え方をキャラクター化することで、覚えやすく使いやすい、児童に寄り添った形式にしています。</p> <p>② 実際の授業に沿った問題解決的な展開にし、数学的活動を通して学習を進められるようにしています。</p> <p>③ 単元の終わりに、その単元の内容を見方・考え方の視点でまとめ、ふりかえりができるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2年以上の各学年上巻の冒頭と全学年の下巻の巻末(6年は本冊の冒頭と巻末)に「算数で見つけた！考え方モンスター」を設け、見方・考え方を具体的な例を示しながら解説し、意識して使えるようにしています。【2年上p.9, 5年下p.170など】 ● 各学年の上巻冒頭と下巻巻末に「〇年生で見つけた見方・考え方」を設け、前の学年で身につけた見方・考え方を領域の学習ごとにふりかえったり、考え方モンスターごとに当該学年の学習をふりかえったりすることができるようにしています。【2年上p.10-11, 3年下p.163-164など】 ● 単元内の学習では、効果的な場面で、「考え方モンスター」をページ右側の側注として提示することで、具体的な場面で活用できる見方・考え方が育成できるようにしています。【全学年】 ● 単元末に、その単元で見つけた見方・考え方をどのように使って学習してきたかをふりかえる「考え方モンスターでふりかえろう！」を設けています。【3年下p.127, 4年上p.137など】 ● 単元の流れを「?を発見」で問題発見から始めながら解決し、新たな疑問として「つながりの?」を明示することで、学習サイクルが明確になるようにしています。【全学年】
<p>② 数量や図形などについての基礎的・基本的事項を理解し、日常の事象を数理的に処理する技能を身につけられるように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は12～16ページ</p>	<p>① 数、量、図形についての基礎的・基本的内容に重点をおいて構成し、概念や原理の習得ができるようにしています。</p> <p>② 数学的活動を通して基礎的な知識や技能の習得ができるようにするとともに、より理解を深められるように配慮しています。</p> <p>③ 生活場面から素材を求め、学習した知識や技能を活かして問題解決が進められるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 低学年では、基礎的な知識・技能や概念・原理の理解が十分図れることに重点をおいています。【1年下p.21-23, 2年上p.88-94など】 ● 中学年では、低学年で学習したことをもとに「考える」を育てることに重点をおいています。【3年上p.59-61, 3年下p.2-5, 4年上p.62-65など】 ● 高学年では、低・中学年で学習した知識・技能や概念・原理を活用し、自ら課題を発見し、主体的に「考え」「活用する」態度を育てることに重点をおいています。【5年上p.77-79, 5年下p.91-95, 6年p.61-64など】 ● 基礎的・基本的な内容が理解できているかどうか、全国学力・学習状況調査の中で正答率が低い内容や、児童のつまずきやすい内容をもとに確認できるように「算数パトロール隊」を設けています。【3年下p.117, 4年下p.73, 5年上p.89など】 ● 算数の学習に必要な用語や定義と、学習を通して児童自らが発見した考え方やきまりを、区別して表示しています。【各ページの重要事項のマークやまとめ】 ● 日常の事象への知識や技能の活用を図るために、各学期末には、その学期で学習した内容を使って問題を解決する場面として、「算数をつかって」を設けています。【2年下p.58-59, 3年上p.100-101, 4年上p.110-111, 6年p.104-105など】
<p>③ 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養うことができるように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は4ページ</p>	<p>① 日常を算数の目で捉える場面を取り上げ、新しい課題に主体的に取り組む、また、そのような態度が育成できるような展開にしています。</p> <p>② 展開の基本を問題解決学習におき、論理的思考力や直感力の育成が図れるようにしています。</p> <p>③ 体験や活動を重視し、それらを通して考察していく展開にしています。</p> <p>④ 学習した内容に対して、児童自らが問いを見つけて、活用・発展していくように工夫しています。</p> <p>⑤ 授業における話し合い活動をもとに、他者に伝えるためにどんなことが必要であるかを実感できるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の冒頭では、日常生活などの場面から問題を発見し、それを算数の課題として取り組むことができる場面として、「?を発見」を設けています。【2年上p.30, 3年上p.26など】 ● 既習事項を想起し、それをもとに解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりする態度を育成するために、吹き出しを有効に活用しています。【2年上p.55, 4年上p.92など】 ● 新たな問題解決のために、既習の問題と対比して解決の方法を考える場面を、各単元や「計算のしかたを考えよう」単元で積極的に取り入れています。【2年上p.30-37, 3年下p.2-5, 4年上p.62-65など】 ● 数量を表す際には、ブロックなどの具体物を積極的に用いて量感覚が具体的にイメージできるようにしています。【1年下p.47, 2年上p.88など】 ● 実際に図形を作って観察する活動を通して、その性質を認識し、分類する展開になっています。【3年下p.52-55, 4年上p.112-113など】 ● 条件変更した場合の考察など、さらに学習を進めたいように、吹き出しを有効に活用しています。【3年下p.76, 5年下p.55など】 ● 既習事項をふりかえることで、これまでの学習内容を統合的に考察する場面として、「ふりかえろう つなげよう」を設けています。【5年上p.74-75, 6年p.102-103など】 ● 図や表については、段階に応じて系統的に身につけられるように「図や表を使って問題を考えよう」を設けています。【3年下p.128-129, 4年上p.108-109など】 ● 友だちの考えを読み取ったり、その考え方を適用して自分の言葉でまとめたりするなど、普段の授業で意識できるように配慮しています。【4年上p.127, 6年p.76-77など】 ● ノート指導を通して、自分の考えや友だちの考えをまとめることが身につくように、各学年の冒頭に「ノート名人になろう」を設けています。【3年上p.6-7, 5年上p.6-7など】

1 教科目標と取り扱い

観点	特色	具体的な事例
<p>④ 数学的活動の楽しさや、数学のよさに気づき、よりよく問題解決しようとする態度や、進んで生活や学習に活用する態度を養うことができるように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は4ページ</p>	<p>① 生活場面から課題を提示し、それを数理的に思考していく学習を通して、数理的な処理のよさが実感できるようにしています。</p> <p>② 課題を解決していく楽しさと充実感を味わえるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題は、児童の身近な生活場面から多く取り入れ、数理的な処理のよさを感じられるようにするとともに、生活への適用の場面も多く入れていきます。【2年上p.14-15など】 ● 日常の事象から問題を見つけ、協働的に解決していくことを通して、数学のよさに気づき、さらに数学を活用することに意義を感じることができるようにしています。【1年下p.40-41, 4年上p.110-111など】 ● 切り取って使える折り込みやゲームのできる折り込みを設け、ミシン目を入れて切り取り易くし、児童が活動を通して学習できるようにしています。【全学年付録】
<p>① 幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を養うように配慮されているか。</p>	<p>① 既習の知識や技能を使って、未知の課題を解決する場面を設定することによって、真理を求める態度を養えるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学年の冒頭には「みんなと学ぼう！算数の学び方」を設け、学びに向かう姿勢を示すとともに、単元の学習では身近な生活場面を多く取り入れ、幅広い知識と教養が身につくように配慮しています。【2年上p.2-5, 6年p.2-5など】
<p>② 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うように配慮されているか。</p>	<p>① 生活場面を取り上げて自律の精神を養えるようにするとともに、多様な考えやイメージを引き出す課題を設定して創造性が培われるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 個に応じて考えることができるように、多様な考え方を示したり、多様な求め方を認めたりすることで、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばすことができるようにしています。【3年下p.4など】 ● 各学期末では「算数をつかって」を設け、様々な日常生活の話題に触れることで、職業や生活と算数との関連を重視する態度を養うように配慮しています。【全学年】
<p>③ 正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を尊重する公共の精神に基づき、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養うように配慮されているか。</p>	<p>① 課題を解決する際に、自他を認め、互いに協力することを意識しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしています。【全単元】 ● 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度を養うように配慮しています。【全単元】
<p>④ 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は34～35ページ</p>	<p>① 様々な場面で生物を登場させ、児童と関わることによって、生命の尊さを実感できるようにしています。</p> <p>② 身近で児童が実行できる活動を取り上げ、自然や他者の命を守る心が養われるようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● レッドリストなど絶滅危惧種の数を扱うことによって、他の生物に興味をもち、生命を慈しむ態度を養うように配慮しています。【3年下p.70-71】 ● 海洋プラスチックゴミの問題やゴミの分別の問題、地球温暖化などを扱うことによって、環境の保全に寄与する態度を養うように配慮しています。【3年下p.146-147, 4年上p.110-111, 6年p.212-214など】
<p>⑤ 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うように配慮されているか。</p> <p>→ 詳細は35ページ</p>	<p>① 地域に伝わる伝統的な行事や産物、外国の人々や建物を扱うことによって、郷土を愛する心や平和と発展について関心をもつようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の建物やその国の人口、計算のしかた、他国の数学者などを紹介することによって、世界の国々に関心をもち、他国を尊重する基礎を育む配慮しています。【4年上p.14, p.99, 5年下p.83など】 ● 我が国の自然・歴史・文化や数学者、都道府県のマークなどを取り扱うことで、郷土を思う気持ちや伝統文化に興味をもてるように配慮しています。【4年上p.125, 6年p.23-24など】 ● オリンピックの種目や施設を扱うことにより、平和に対する人々の思いに触れられるようにしています。【4年下p.98-99など】



特色 観点別 一覧表

II 指導計画の作成と内容の取扱い

	観点	特色	具体的な事例
1 主体的・対話的で深い学びの実現	① 主体的な学びが実現できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 自ら課題に働きかけ、自力解決できる姿を育てられるように配慮しています。 ② 課題を発見し、児童が自分で学習を進めることができるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2年以上の単元の導入では、「？を発見」で場面イラストを用い、これから学習する内容についての興味を喚起するとともに、学習への導入の円滑化を図っています。【4年下p.2, 5年上p.12など】 ● 学習の「めあて」は、児童の中から自然に発生するように、課題について考えたり話し合ったりする中から出てくるようにして、学習意欲が持続する配慮をしています。また、「めあて」を示している箇所では、「知りたいな」、「調べたいな」などのガイドも同時に示すことで、児童の主体性を促すことができるように配慮しています。【3年上p.27, 3年下p.46, 5年上p.98など】 ● 単位時間の終わりでは、学習したことから生まれた新たな疑問について考えるように、「つながりの？」を設けています。【全単元】
	→ 詳細は4～5ページ		
	② 対話的な学びが実現できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 対話的な場面であることが明確になるように工夫しています。 ② 自分の考えを伝えたり、他者の考え方を認めたりすることができるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者との対話が想定される場面では、2人または4人で話し合っているイラストを示し、場面をイメージしやすいように配慮しています。【3年上p.108, 4年上p.32など】 ● 多様な考え方やかき方、求め方を示し、他者の考え方を理解し、認めることができるように配慮しています。【4年上p.64-65, 5年上p.30など】
③ 深い学びが実現できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習してきた内容を活用することができるように工夫しています。 ② 学習した内容を整理して、深めることができるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでに学習した内容を「ふりかえろう つなげよう」として領域ごとにまとめて統合的に捉えるとともに、そこから生まれる新たな疑問を次への学習のきっかけとして位置づけています。【4年上p.86-87, 6年p.124-125など】 ● 児童の意欲に応じて学習した内容を活用したり、深めたりすることができるように、巻末では「ふかめよう」を設けています。【2年上p.160-161, 5年上p.167など】 	
2 継続的な指導	① スパイラル(反復)などの継続的な指導や学年間の円滑な接続ができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 継続的な既習事項の反復などを通して、学年間や学年を超えた円滑な接続ができるようにし、基礎・基本の習熟や維持が図れるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文中では、適宜、既習事項を想起し、類推的に考えることができないかを吹き出し等で投げかけることで、継続的な学習を意識できるようにしています。【5年下p.98】 ● 目次では、関連のある既習単元のつながりを提示したり、次につながる単元を提示したりすることで、当該学年だけでなく、学年間や学年を超えた系統的な配列も見えるように工夫しています。【全学年の目次】 ● 2年以上の巻頭で「〇年生で見つけた見方・考え方」を設け、前学年の学習を見方・考え方をともにふりかえり、次の学習へつなげることができるようにしています。【4年上p.10-11, 5年上p.10-11など】 ● 「時刻と時間」や「長さ」、「単位量あたりの大きさ」、「割合」など、児童にとって理解の困難な学習については、単元を分けて細かなステップで取り組めるように配慮しています。【1年上p.86-87, 2年上p.64-78など】
	③ 他領域の内容を関連付けて活用するなどの配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 他領域の内容との関わりを積極的に示唆して、複合的に活用していく場を取り上げています。 ② 他領域の課題であっても同じ考え方を活用していることを示唆することで、領域を超えた理解が深まるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比例の単元で面積の問題を扱うなど、領域を個々として切り離すのではなく、積極的に複合して活用していくように示唆しています。【5年上p.41など】 ● 各学年下巻末の「〇年生で見つけた見方・考え方」や、6年別冊の「算数で見つけた見方・考え方」では、これまでの学習や6年間の学習を見方・考え方をベースにまとめることによって、異なる領域の内容でも同じ見方・考え方をしていることに気づき、領域を超えて理解が深められるように配慮しています。【4年下p.179-180, 6年別冊p.2-25など】

	観点	特色	具体的な事例
4 幼稚園・保育所や中学校との連携	① 幼稚園・保育所との連携について配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 低学年では、問題場面や活動内容を親しみやすい素材を使って設定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年の目次では、これまでにしてきた遊びが算数と関わりあることを示唆するとともに、1年の入門期では、幼稚園や保育所で慣れ親しんだ絵本のような場面やしかけを行い、課題に抵抗感なく関われるように配慮しています。【1年上p.2-17など】
	② 小学校算数から中学校数学へのスムーズな移行に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 小学校算数で身につけた見方・考え方を、中学校数学になってからも活用できるように備えています。 ② 高学年では中学校数学との教材の関連を意識して、小学校算数の学習内容とともに作図方法についても振り返りを意識しています。 ③ 小学校から中学校の学習内容へのギャップをなくすよう、自然に数学の世界へ興味もてるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 6年には、6年間の算数の総復習として、「算数のまとめ」を設けています。また、6年別冊の「中学校へのかけ橋」の「算数で見つけた見方・考え方」では、小学校算数の6年間で学んだことを「見方・考え方」をもとに総まとめをし、中学校でも活用できるように備えています。【6年別冊p.2-25】 ● 6年別冊の「中学校へのかけ橋」では、図形の垂直と平行についての図形的な性質だけでなく、定規やコンパスの使い方についても復習して中学校に備えています。【6年別冊p.35-37】 ● 中学校で広がる数の世界にとまどわないように、6年別冊「中学校へのかけ橋」では、ガイダンス的に正負の数や文字式などを紹介しています。【6年別冊p.26-48】 ● 教科書の構成について中学校とのギャップを少なくするため、6年の教科書を1冊にして、1学年1冊という形態に慣れることができるようにしています。【6年】
5 すべての児童への配慮	① ジェンダーや人権などへの配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 素材や登場人物、その表現において、社会的な性別や人権差別を助長することのないよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 登場するキャラクターを男子2人、女子2人にし、紙面に登場する比率や役割、話し方などについて偏りがないようにしています。【全単元】 ● 男子は寒色系の色の服、女子は暖色系の色の服やスカートなどの固定的なイメージで区別することのないように配慮しています。【全単元】
	② ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 色覚特性に配慮し、色の違いによって区別し解答させる場面を避けて、記号や模様の違いなどで判断できるようにしています。 ② 文字の視認性や紙面における明確さなど、すべての児童が見やすいように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 色覚に関する専門家の校閲を得て、写真、イラスト、図版、本文の記述など全てにおいてカラーバリエーションとなるよう配慮しています。【全単元】 ● 主要な本文書体にはUDフォントを使用し、全ての児童にとって、より見やすく読みやすい教科書となるよう配慮しています。【全単元】 ● 主要な問題を枠で囲んだり、重要な内容は他と形などを区別したりすることで、読み取りやすく、算数の学習の妨げにならないように配慮しています。【全単元】
	③ 特別支援教育に対して配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援が必要な児童だけではなく、全ての児童にとってつまづきをなくすための手立てを、全学年を通して取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ページにおいて文節改行を取り入れ、読み取る段階でのつまづきを解消するよう努めました。また、できるだけ1つの番号につき、課題が1つになるようにし、混乱を避けるよう配慮しています。【全単元】 ● 4年では、点字の仕組みを算数に関連させながら解説し、紹介しています。【4年下p.127】
6 道徳などとの関連	① 自分自身について振り返り、見直そうとする態度を育成する展開になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材の中に生活の場面を取り入れ、自らの生活について考えられるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日の生活の流れを調べる活動を通して、自分自身の生活について振り返り、見直そうとする態度が育成できるようにしています。【1年下p.60, 2年上p.20など】 ● 健康について考えることで、自分自身を見直すきっかけになるように、規則正しい生活や食べ物、体のつくりについての素材を取り上げています。【2年上p.120-121, 6年p.210-211など】 ● 話し合いの中で、自他の意見を尊重し合い、多様な考えを認めることができる態度を育成できるように配慮しています。【6年p.93など】
	① ICTを活用して学習効果を上げるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① ICT機器を使用することの利便性や、効果的かつ正しい使用方法について理解できるように配慮しています。 ② 発達段階に応じたプログラミング学習が行えるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学びの補助として、ICT機器を活用して考察することのできる二次元コードを準備しています。【全学年】 ● デジタル・シティズンシップについて知ることで、インターネットの正しい利用方法や姿勢が身につくようにしています。【6年p.104-105】 ● タブレットを使用して撮影した写真を拡大や縮小する活動を通して、コンピュータを使用する利便性を伝えとともに、その使用方法についても注意を喚起しています。【6年p.170】 ● 各学年にプログラミングに関するページを設けて、物事を筋道立てて捉える論理的思考を育むために、プログラミング的思考が身につくようにしています。【1年下p.80-81, 3年下p.144-145, 5年下p.150-151など】
7 ICT活用	→ 詳細は30～31ページ		

III 教科書の構成上の配慮と工夫

	観点	特色	具体的な事例
1 内容の程度	① 本文の程度は、各学年の児童の能力に適切したものになっているか。 → 詳細は12～13ページ	① 内容は、易から難へと段階を細かくして展開し、児童の発達段階に応じたものになっています。 ② 既習事項を活用して解決できるように配列し、各学年の児童の能力に応じた扱いができるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 計算では、桁数の少ないものから多いものに、繰り上がりや繰り下がりのないものからあるものへと、児童の発達段階を考慮し、段階を細かく分け、図や操作活動を通して、易から難へと配列しています。【加減乗除の全単元】 ● 量と測定では、具体操作を中心に量概念、量感覚を育成するとともに、測定の概念については、直接比較・間接比較・任意単位・普通単位の流れをベースにして展開しています。また、公式についても自ら作り出すことができる展開にしています。【量と測定領域】 ● 図形では、かく・折る・切る・測るなどの数学的活動を通して図形の調べ方を育成できるようにしています。また、身のまわりのものから抽象化したり、作品作りなどで、図形の感覚を育成したりするなど、図形を用いるよさに着目できるようにしています。【図形領域】 ● 各学年の統計領域では、基礎・基本を身につける単元と活用する単元の2つの単元に分けています。活動を分類整理することによって統計学習の充実を図ることができるように配慮しています。【統計領域】
	② 練習問題などの程度は適切になっているか。 → 詳細は12～13ページ	① 基礎的・基本的な内容については1時間の学習内容に対応した練習問題を時間の終わりの部分に載せ、十分な習熟が図れるようにしています。さらに練習を深めたい場合のために、巻末にも練習問題を掲載し、適切な量で扱えるよう工夫しています。 ② 単元末の「できるようになったこと」では、その単元の基礎的・基本的な考え方の習得を確認する問題を配置しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時間の最後に適用問題を載せ、1時間の学習内容の習熟を図れるようにしています。【2年上p.130, 5年上p.117-118など】 ● より習熟を深めることができるように、巻末に「ほじゅう問題」を設けています。【3年下p.150-156, 6年p.232-243など】 ● 単元末の「できるようになったこと」では、二次元コードのリンク先に練習問題を用意し、より習熟できるようにしています。【2年上p.49, 4年上p.22など】
	③ 補充的・発展的な学習についてはどのように配慮されているか。	① 基礎・基本の学習をさらに習熟するとともに、それらを使って総合的・発展的に考えられるよう工夫しています。 ② どちらも柔軟に扱えるよう、構成について工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全学年の巻末「ほじゅう問題」は、柔軟に扱えるよう巻末にまとめて掲載し、自学自習にも活用できるよう、2年以上では解答も用意しています。【2年下p.120-126, 3年上p.129-139など】 ● 巻末の「もっと算数」内の「ふかめよう」では、複数単元の内容、生活の中の算数などを題材に総合的・発展的に考える教材も取り入れています。【3年上p.142-143, 4年下p.172-173など】
2 組織・配列	① 内容は、基礎的・基本的事項を理解するうえで、系統的・発展的に配列されているか。 → 詳細は18～27ページ	① 各学年の指導内容を詳細に分析し、基礎・基本の内容を明確にして、系統的・発展的に配列しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年の数の学習では、入学前の児童の数の理解程度を研究し、10まで、30まで、120までと分け、数拡張の中で十進位取り記数法の定着に十分な時間がかけられるようにしています。【1年の数領域】 ● 計算については、基礎・基本を明確にし、既習事項を使って計算方法を自分で考えられるものについては、「くふうして計算のしかたを考えよう」単元として設定しています。【2年上p.30-37, 3年下p.2-5など】 ● 5年の面積や6年の体積では、既習の量の測定の概念を用いて考えられるように配慮しています。【5年と6年の図形領域】 ● 倍については、児童のつまづきが多い内容であるため、本単元とは切り離して特設単元として、3年から6年までの「倍の計算」単元で学習することができるようにしています。【3年上p.54-55, 5年上p.128-129, 6年p.126-127など】 ● 理解が困難な内容については単元を2つに分け、さらに指導時期も学期を分けるなどすることによって、基礎・基本が定着できるように配慮しています。【3年「わり算」、5年「割合」など】
	② 教科書の構成は、児童が意欲的・主体的に学習できるように配慮されているか。 → 詳細は4～5ページ	① 学習材として教科書を位置づけ、導入では答えの見えない構成に配慮するとともに、ていねいな記述で児童が学習後に読んでわかることをねらい、意欲的・主体的に学習できるように配慮しています。また、自主学習ができるよう配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要事項は、教師が指導すること(定義や用語など)を「博士マーク」、児童が活動を通して発見し、獲得すること(考え方やきまりなど)を「まとめ」に分けて、目立つようにしています。【全単元】 ● 単元名の下に児童にもわかりやすい言葉で「単元のねらい」を示し、児童自らねらいをもって学習に取り組むことができるようにしています。【全単元】 ● その時間の「めあて」を児童の対話から生まれるようにして明確にするとともに、意欲的に学習に臨めるようにしています。【全単元】 ● 既習事項が明白な単元の導入や、小単元の導入では解説・解答が見えない構成にするとともに、考える力を育成するようにしています。【3年上p.37, 5年下p.47など】
	③ 導入・本文・練習などの配列は、単元を学習する上でふさわしいものになっているか。 → 詳細は4～6ページ	① 課題把握の場としての「導入」、理解を深めさせる場としての「本文」、定着の場としての「練習」、学習したことの整理としての「できるようになったこと」というように、一貫して学習できる配列に配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入では、ストーリーのあるイラストを用いて生活の場面から素材を提示するようにし、作業的・体験的な数学的活動も取り入れながら、課題把握が十分できるようにしています。【2年上p.100, 4年下p.78など】 ● 各時間の導入課題は枠組みで示し、いろいろな考え方の例示や解説をもとに授業が進められるようにしています。また、基本的にページ単位で学習内容を構成し、学習が途中で途切れることがないよう工夫しています。【全単元】

	観点	特色	具体的な事例	
2 組織・配列	④ カリキュラム・マネジメントの実現についての配慮がされているか。 → 詳細は18～19ページ	① 教育課程に基づき、計画的に授業が進められるように配慮しています。 ② 他教科との連携を考え、現代的な課題に対応できる内容を扱っています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 3学期制、2学期制のどちらにも対応できるような単元配列にするとともに、適宜予備時間を設けることで、柔軟な授業が展開できるように配慮しています。【全単元】 ● 本文では、他教科の進度に合わせた単元配列を重視するとともに、学期末の「算数をつかって」では、総合的な学習としても扱える話題を取り上げ、現代的な課題に取り組むことができるように配慮しています。【全単元】 	
	3 分量・時間	① 各学習内容の分量は適切に配分されているか。	① 発達段階に応じて児童が効果的に学べるように、単元のまとまりを設定しています。また、児童の意識面にも配慮して単元構成をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童の実態を分析し、低学年では単元を短くし、高学年では内容的なまとまりに対応して単元構成をするようにしています。また、単元の中でも教材のまとまりに配慮し、2～6の小単元で構成しています。【各学年】
		② 総時間数や児童の発達段階に照らし合わせ、教科書の全体の分量や1時間ごとの分量は適切な量となっているか。 → 詳細は18～19ページ	① 基礎・基本の内容を確実におさえたいうえで課題を精選し、余裕のある時間配分ができるよう配慮しています。 ② 1時間ごとの分量は児童の発達段階に合わせた適切な分量になるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体の課題を精選することで、学習指導要領に示された標準時間数に対して、10～20%ほど少ない時間数で本文内容を扱うことができるようにしています。【各学年】
③ 練習などの分量は適切になっているか。		① 各時間の定着を図るための問題、単元末の「できるようになったこと」、巻末の「ほじゅう問題」では、既習内容の定着、基礎・基本の習熟を図るのに必要な分量にするようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1時間ごとの定着のために時間の最後に適用問題を入れ、習熟できるようにしています。なお、計算では、代表的な型の問題には問題番号に色アミを付けて、学習のねらいと問題の関連が明確になるようにしています。【2年上p.58など】 ● 「できるようになったこと」はその単元の習熟問題、「まなびをいかそう」はその単元の活用問題とし、習熟に応じて扱うことができるようにしています。【各単元末】 ● 巻末に「ほじゅう問題」を掲載することで、個々の進度や時間数によって柔軟に使用できるようにしています。【各学年】 	
4 教材・素材	① 素材は、実生活との関連を考慮し、児童の興味や関心をもて、生活経験を基にしたものになっているか。	① 可能な限り身のまわりにあるものを題材として取り上げ、興味や関心をもてる導入にするとともに、生活場面で活用している例を取り上げています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻末の「ふかめよう」や本文中のコラム(囲み)などでは、学んだことを生活や遊びの場面に活用することで算数のよさが実感でき、意欲的に学習できるよう配慮しています。【6年p.23-24】 	
	② 素材や場面は、地域性に対する配慮や地域的な偏りがないよう配慮されているか。	① 各地域の特徴や建造物、産物などを提示することにより、児童が興味や必要感をもって取り組めるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域性のある題材を使用するとともに、自分の住んでいる地域についても算数的興味をもてるよう配慮しています。【3年上p.114, 4年上p.151, 5年上p.81など】 	
	③ 社会の進展や変化に対応できる能力や態度が身につくよう配慮されているか。	① 演算決定を行うための手段・判断方法を獲得し、変化する課題にも対応できる能力・態度が育まれるように工夫しています。 ② 多様な情報から必要な情報を読み取り抜き出す能力、課題解決のために情報を補足する能力が育まれるよう工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 計算単元では、演算決定をするための有効な手立てである図の指導を、発達段階に応じて低学年から系統的に扱っています。4年生以降では、4マス関係表を使って効果的に演算決定ができることも促しています。【2年上p.82-83, 3年下p.8, 5年上p.99など】 ● 数量感覚を育てるために、実際の経験・見積り・予想する行為を重視し、学習展開の中で随時取り扱うようにしています。【4年上p.95など】 ● 解決のために情報を正しく取捨選択できる能力が育つよう、長文から必要な情報を抜き出す課題を取り扱っています。【2年上p.120-121, 5年上p.130-131など】 	
	④ 他教科及び総合的な学習との関連に配慮した展開となっているか。 → 詳細は29ページ	① 単元配列や素材の選択で、合科的な扱いができる場面を取り入れるなど、他教科との関連にも配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元配列では、他教科での利用性の高いものについては、無理のない範囲で早期に学習するようにしています。【4年上p.26, 5年上p.50-51など】 ● 社会科の統計資料や国語の表現活動、保健体育の安全教育など、他教科との関連を図ることで、算数の有用性が理解されとの考えから、積極的に他教科の題材を取り入れています。特に理科については教材の考察についても関連を図れるよう工夫しています。【2年上p.13, 3年上p.76-77, 4年上p.80-81, 5年上p.50-51など】 	
5 様々な教育課題への取り組み	① 防災・防犯・安全指導について配慮されているか。 → 詳細は34ページ	① 自分と他者を守るための防災、防犯、安全指導について、算数との関わりの中で扱えるように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故の起きた時間帯や事故の原因を考察する課題や、道路標識の掲載、ハザードマップについての課題などを掲載し、防災、防犯、安全指導について配慮しています。【3年上p.100-101, 6年p.228-230など】 	
	② 国際理解に関心をもてるよう配慮されているか。 → 詳細は35ページ	① 国際理解について算数との関わりの中で扱えるようにし、人間教育の一環となるように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際理解の視点から、4年の「大きい数」の導入や「いろいろな国のわり算のしかた」、環境問題でのデータなど諸外国の存在に目を向けられるようにしています。【4年上p.14, 99など】 	
	③ 環境について興味をもてるよう配慮されているか。 → 詳細は34ページ	① 環境教育について身近な事柄から算数の視点で分析し、地球の将来について考察できるよう配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 単位量あたりの大きさや比例を使って社会現象を分析したり、身近な学校や家庭から地球の将来を考えるとという視点で扱うようにしています。【4年上p.110-111, 5年上p.87など】 	

III 教科書の構成上の配慮と工夫

	観点	特色	具体的な事例
6 個別最適な学び	① 個々の習熟度に対応できるように配慮されているか。	① 学級内の個人差に対応した様々な教材を用意し、柔軟に取り扱えるよう工夫しています。	● 全学年の巻末に基礎・基本を習熟するための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「ふかめよう」を掲載することで、個々の習熟に柔軟に対応できるようにしています。【2年上p.151-161, 5年下p.156-165など】
	② 個性を育成できる活動が取り入れられているか。	① 解決の多様な方法を提示し、一人ひとりの考えを大切にしたい学習ができるように配慮するとともに、問題作りや、作品作りなどの活動を通して、個性を育成できる扱いを入れています。	● 「○○さんの考え」を示すことで、友だちの考えを尊重して大切にしたり、別の方法を考え出すきっかけになるようにしたりしています。【1年下p.14, 2年下p.54, 5年上p.82など】 ● 解決の方法や結果が多様なものになるような問題を入れ、 児童一人ひとりが達成感と充実感を味わえる ようにしています。【2年下p.50, 4年上p.112など】 ● 本作りや問題作り、作品作りなどで個性に応じた主体的な数学的活動ができるようにするとともに、意欲を育むことにも配慮しています。【1年上p.11, 52, 3年上p.47など】
	→ 詳細は6ページ		 
	③ 学校での学習とともに家庭学習の習慣が身につくように配慮されているか。	① 学校や家庭での学習を想定し、教科書の使い方を示しています。 ② 学習した内容を振り返る場を多く設けることで、学習習慣が身につくように配慮しています。	● 2年以上の巻頭に「みんなと学ぼう！算数の学び方」を設け、児童が教科書を使った自学自習に対応し、予習や復習などに使えるようにしています。【2年上p.2-5, 4年上p.2-5など】 ● 「 できるようになったこと 」では、問題の観点とチェックマークを設け、自分の身につけた力を確認しながら練習できるよう促しています。【2年上p.49, 4年下p.30, 95など】 ● 「先生と保護者の方へ」を掲載し、先生、保護者の方も教科書の構成や記号の意味について理解できるようにし、教科書の趣旨に沿って児童を支援できるようにしています。【2年上p.2-5, 6年p.2-5など】
④ 自己評価に対応した取り扱いができるように配慮されているか。	① 「できるようになったこと」では、考え方、表現・処理、知識・理解の評価に対応した問題を配列するとともに、その単元の基礎・基本の評価だけでなく読解力や表現力も評価ができるようになっています。 ② 児童の活動をもとに自己評価する方法を用いて、より深い評価ができるようになっています。	● 各単元の「 できるようになったこと 」では、観点別の評価にも活用できるように配慮しています。さらに、各問題にチェック欄を設けることで、自己評価ができるようにしています。【各単元末】 ● 2年以上の巻末の「ほじゅう問題」では解答と関連ページを載せ、自己評価・自己学習ができるとともに、主体的な学習態度が育成できるように配慮しています。【3年上p.128, 4年下p.159, 6年p.231など】 ● 各学期末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、 個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるようにしています。 【2年下p.116-118, 4年下p.156-158など】	
→ 詳細は16～17ページ			
7 キャリア教育	① キャリア教育について配慮されているか。	① 児童が他者や社会との関わりを意識し、協働的に行動できるように配慮しています。 ② 自己を理解し、主体的に学習に取り組むことができるように配慮しています。 ③ 課題解決のために、どのように考えていけばよいかという解決のプロセスも学べるように配慮しています。 ④ 自らの立場や役割を理解し、社会に出て役立つ能力が身につくように配慮しています。	● 他者の考えを多様な考え方として明示し、話し合いをもとにして学習に取り組んでいけるように配慮しています。【4年上p.64-65など】 ● 単元の活動では、「 ？を発見 」や「 めあて 」、「 つながりの？ 」など、児童の思考に寄り添った展開とすることで、知りたいことや考えてみたいことなどに主体的に取り組んでいけるように構成しています。【全単元】 ● 特に「Dデータの活用」領域では、自分たちが調べたいことを発見し、PPDACサイクルを活用しながら問題を解決していくことができるような展開としています。【5年下p.140-142など】 ● 身のまわりの生活場面において、自分たちならばどんなことができるか、どのようなことが考えられるかを話し合う場面を通して、 社会に役立つ素地を養う ことができるようにしています。【6年p.228-229など】
	→ 詳細は35ページ		

	観点	特色	具体的な事例
8 絵図・写真	① 表紙や挿絵、図・写真はわかりやすく、発達段階に応じたものになっているか。	① 児童の感覚にマッチした現代的な絵を用いるとともに、リアル感のある写真を多用して理解を助けるように配慮しています。このとき、単なる挿絵ではなく、問題の解決の手助けになるようにしています。 ② 図は書き込みができるものを多くし、発達段階にふさわしいものにするよう配慮しています。	● メインキャラクターや紙面上のイラストについては、児童に親しみのあるものを使用し、単なる挿絵ではなく、内容の理解を助け、解決の道具になるようにしています。【全単元】 ● 実生活との関わりを喚起させる教科書にするために、また、課題内容が明確にわかるようにするために、できるだけ写真を活用するようにしています。特に算数の道具を使って作図する場面においては、使い方が具体的にわかるように連続写真を使って説明しています。【2年上p.72-73, 3年上p.106-107など】 ● 表紙はミニチュアの世界で、その学年で学習する内容を表現し、楽しく想像しながら算数の世界に入ることができます。【全学年】
	② 絵や図、紙面の色使いが見やすくなるように工夫されているか。	① 教科書を長時間読んでも疲れない紙面を心がけています。 ② 図の色を学習に集中できるように配慮しています。	● 紙の色を明るく白くすることで、文字・イラスト・写真がより明確にわかるようにしています。【全単元】 ● 写真の切り抜きを多用し、紙面の空白部分を増やすことで、目にかかる負担が少なくなるように配慮しています。【3年上p.112など】 ● 重要事項や紙面のポイントとなる部分に色をつけ、紙面のメリハリが明確になるように心がけています。【3年上p.120, 4年下p.35など】
	③ 臨場感のある写真やイラストが効果的に使用されているか。	① 課題の提示や導入などで積極的に写真を使用し、わかりやすく臨場感のある紙面作りをしています。	● 単元の導入はできるだけ日常場面を採用し、イメージしやすいイラストで表示することで、児童の興味・関心を促すように工夫しています。【2年上p.38など】 ● 課題内容が明確に伝わるよう適宜実物の写真を使用し、実生活との関わりを深めています。また、児童の活動場面では、実際に活動している場面を写真で掲載しています。【1年下p.34-35など】
9 表記	① 文章の表現は、読みやすく、理解しやすいように配慮されているか。	① 児童の発達段階を考慮して文字を使用し、簡潔でわかりやすい表現、文章になるように配慮しています。	● 児童の発達段階や国語科との関連を考慮し、1年の入門期では文字を使わずに活動するページとしています。【1年上p.2-19】 ● 全ページにおいて文を読みやすい位置で改行し、文章の読みやすさを重視しています。また、できるだけ1つの番号につき、課題が1つになるように構成し、簡潔な文章になるように配慮しています。【全単元】
	② 漢字・仮名遣いは国語との関連が配慮されているか。	① 漢字の使用は国語科との関連を重視し、児童の学習状況に即して学習上の支障が起こらないよう配慮しています。 ② 学習指導要領であげられた用語などは太字で表記し、何度でも確認できるように工夫を施しています。	● 漢字の使用は国語科との関連を重視し、基本的には当該学年までの配当漢字を用いています。ただし、当該学年の漢字については単元の初出にルビを付け、学習上の支障が起こらないように配慮しています。また、算数を学習する上で漢字である方が理解しやすい上位学年の用語についても、見開きごとの初出にルビを付けて、学習上の支障が起こらないよう配慮しています。【全単元】 ● 学習指導要領で決められた算数の用語や記号は、ゴシック体の太字で表記し、重要な用語であることが伝わるように工夫しています。また、巻末には算数の用語・記号を厳選して索引のページを作り、大切な用語を簡単に確認できるようにしています。【3年下p.160, 4年下p.176など】
10 印刷・造本	① レイアウトは見やすく構成されているか。	① 課題が一目でわかるようにするとともに、重要事項には枠囲みをし、学習のまとめがすぐわかるようにしています。 ② 導入では答えの見えないレイアウトになるようにし、教科書を授業で使えるように配慮しています。	● 各時間の主課題となる四角の問題番号、1時間の始めの課題を示す枠囲み、電卓利用のマークなど、教科書を活用しやすくする工夫をしています。【全単元】 ● 課題と解決過程を紙面の表・裏の配置にするなどして、できるだけ解答が見えない工夫をし、児童の主体的な活動を促すよう配慮しています。【全学年】
	② 文字の大きさや行間などは適切か。また、挿し絵などの印刷は鮮明になっているか。	① 文字はUDフォントを基本にし、数字は目立つように少し太いものを使用しています。また、字の大きさは発達段階に配慮しています。 ② 印刷は明るい仕上がりになるように配慮し、児童の興味・関心を引き出せるようにしています。	● 文字は、UDフォントを使用し、従来よりもやや太くはっきり読める書体としています。文字の大きさは、発達段階を考慮して、高学年になるにしたがって、少しずつ小さくしてあります。【全単元】 ● 数字は文字より太い書体を特別に作り、文字との区別がより明確になるようにしています。【全単元】 ● 用紙は白色度を上げ、文字やイラストが鮮明になるよう配慮しています。【全単元】
	③ 製本は堅牢であるか。	① 製本は長期の使用に耐えられるように十分な配慮をしています。	● 表紙・裏表紙にはコーティングを施し、汚れや破損に強い仕様としています。なお、裏表紙の氏名記入欄は鉛筆で氏名が書けるように配慮しています。【全学年】 ● 製本は耐久性、耐熱性に強いPUR製本を使用しています。硬化する粘着剤を使用し高い強度を保つとともに、本がノド元まで開く柔軟性をもった作りをしています。【全学年】
	④ 環境やアレルギーに対する配慮はされているか。	① 印刷・造本において、環境やアレルギーなどにも配慮しています。	● 紙は環境に優しい再生紙を使用し、インクには化学物質をおさえた植物油インクを使用するなど、環境やシックスクールに配慮するようにしています。【全学年】